

令和3年度 幼保連携型認定こども園 唐津カトリック幼稚園 学校評価(自己評価)

1. 幼稚園の目標	2. 本年度の重点目標
カトリックの愛と祈りの精神に基づき 神様を愛し人を愛することができる 子どもに育てる	・心を育てる ・宗教による情操教育 ・縦割り保育 ・小学校連携の充実のカリキュラム ・挨拶・礼儀・よい生活習慣の形成 ・モンテッソーリ教育 ・地域との交流

3. 目標・評価						外部関係者から
①こころを育てる						意見や提言など
領域	評価項目	評価の観点	具体的な方策	達成度	成果と課題	
教育活動	生きる力の 育ち	自分で考えて判断 できているか	正しい目標を定めそれに向か って努力する心の強さを担う	3.8	モンテッソーリのおしごとの自己選択活動を通して自分なりの目標を持ち取り組む子ども達を見守り援助しながら次の意欲につながるような声かけをしていった。生活の中でも指示待ちの子もいるので自分で考えて判断し行動できるように不必要な援助が多くならないよう工夫した。	
	思いやりの 心の育ち	相互のつながり をふやす	縦割り保育で家庭的な 雰囲気をつくる	4	縦割り保育の中で泣いたり困っている友達を自然と助ける優しさや思いやりの心が育っている事が嬉しく思う。自分自身の言葉遣い・立ち振る舞いが子ども達に影響することを常に意識してよいお手本となれるように心掛けた。また、特に未満児クラスでは保護者に代わって安心感を持てるような家庭的な雰囲気作りにも努めひとりひとりに合わせて丁寧に対応できるようにこれからも職員間で連携しながら保育をしていきたい。	

②宗教による情操教育						意見や提言など
領域	評価項目	評価の観点	具体的な方策	達成度	成果と課題	
教育活動	神様に愛され ていることを 知る	すべてのものに 感謝する心を 学ぶ	自己肯定感と 善悪の判断をつけ 正しいことを実行できる 良心を形成する	3.8	いつも神様が見守って下さっていることを機会をとらえて子ども達に伝えた。良いことや間違った事をした時に神様の存在を意識している様子が見られた。宗教教育の中で職員も子ども達と共に学び日常のお祈りや絵本の読み聞かせなどを大切にしながら過ごしていきたい。	

③地域との交流						意見や提言など
領域	評価項目	評価の観点	具体的な方策	達成度	成果と課題	
教育活動	地域との つながりを 深める	自分の笑顔が 他の人に役に たつことの 喜びを体験する	・地域の園外清掃 ・老人ホーム慰問 ・虹の松原清掃	3.3	今年度もコロナ禍で地域に出掛けて交流することは少なかったが虹の松原清掃では普段経験出来ない事を経験し、自分の頑張りを地域の方が喜んで下さることで子ども達も人の役に立つ喜びを経験出来た。日頃の保育ではご近所の方への挨拶は保育者が率先して行いお手本を見せることにより子ども達も自然と挨拶が出来るようになった。	

④小学校連携						意見や提言など
領域	評価項目	評価の観点	具体的な方策	達成度	成果と課題	
教育活動	小学校に 興味をもち 親しみを持つ	遊びの体験を 学びの自立へ 持っていけるよう 促す	生活習慣の徹底、 精神的自立、ができるよう ひとりひとりにあわせた 記録をとり指導する	3.8	ひとりひとりの発達段階を考慮しながら自分でできた喜びを味わえるように、手伝いすぎず、自立を促す事ができるように関わっていった。自信をもって小学校へ行けるよう家庭と連携しながら生活習慣の徹底に力を入れた。	

4 本年度のまとめ
今年度も昨年に引き続きコロナ禍で行事など制限されることが多かった。その中で全職員が協力しながら子ども達が楽しく過ごせるように模索した1年であった。改めて日常の有難さを感じ、日々の保育を見つめ直す事ができた。また、コロナ禍で保護者の出入りも制限され、なかなか園の様子を伝えきれいなかったので、今年度はFacebookを活用し写真や動画、文章で前年度よりも詳しく伝えられたと思うが、ひとりひとりについてはまだまだ足りない所も多いので来年度は連絡帳や懇談などで伝えられるようにしていきたい。

達成度
A(5) ほぼできた
B(4) 概ねできた
C(3) 少しできた
D(2) 不十分だった

外部関係者より総評
コロナ禍も二年目となり園側の創意工夫も保護者側の慣れも深まり、概ね行事はこれまで通りの満足度を得られる形で実施して頂いたと感じています。参観の機会が減ったことは残念でしたが、SNSを通して補っていただきました。感染予防対策の徹底と保育への熱心な取り組み等で園児たちが無事卒園と進級を迎えることができ先生方の努力と頑張りに心から拍手を送ります。